

令和7年度 第1四半期（2025年4月～6月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答=24 事業所(回答率 96%)

2. 調査対象期間

今期=2025年4月～6月

- ・前年同月比=前年同期(2024年4月～6月)と比べた今期の状況
- ・前期比=前期(2025年1月～3月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し=今期と比べた来期(2025年7月～9月)の見通し

3. 調査期間 2025年6月13日～6月20日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が0より上の場合=景気は上向き

DI値が0の場合 =景気は横ばい

DI値が0より下の場合=景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲33.3 で、業種別にみると「製造業」が▲20.0 で最も高く、「卸売業」が▲24.8 で続いている。

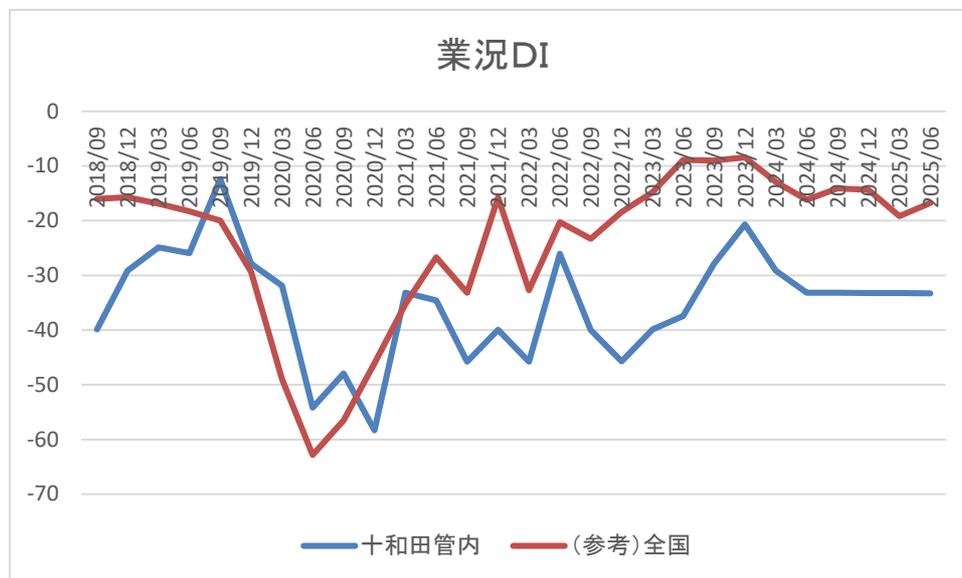
先行きは 4.2p悪化の▲37.5 で、業種別では「建設業」「小売業」「サービス業」で横ばい、「製造業」「卸売業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2025年 1~3月期 (前回調査)		2025年 4~6月期 (今回調査)		2025年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲33.3	→	▲33.3	→	▲37.5	↘
建設業	▲40.0	↗	▲40.0	→	▲40.0	→
製造業	▲40.0	→	▲20.0	↗	▲40.0	↘
卸売業	▲39.8	→	▲24.8	↗	▲25.0	↘
小売業	0.0	↘	▲40.0	↘	▲40.0	→
サービス業	▲39.8	↘	▲40.0	↘	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲19.2	↘	▲16.8	↗	▲15.7	↗
(参考)東北全産業	▲29.1	↘	▲28.3	↗	▲22.0	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)



(2) 売上高DI

売上高DIの現況判断は▲37.4で、業種別にみると「製造業」が▲20.0で最も高く、「卸売業」が▲24.8で続いている。

先行きは8.3p改善の▲29.1で、「小売業」「サービス業」で改善、「卸売業」で悪化となっている。

図表2 売上高DI

	2025年 1～3月期 (前回調査)		2025年 4～6月期 (今回調査)		2025年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲33.2	↗	▲37.4	↘	▲29.1	↗
建設業	▲79.8	↗	▲40.0	↗	▲40.0	→
製造業	▲20.0	↗	▲20.0	→	▲20.0	→
卸売業	▲19.8	↗	▲24.8	↘	▲25.0	↘
小売業	0.0	↗	▲59.8	↘	▲40.0	↗
サービス業	▲39.6	↘	▲39.8	↘	▲19.8	↗
(参考)全国全産業	▲6.4	↘	▲3.5	↗	▲5.1	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (増加の回答割合) - (減少の回答割合)

(3) 採算DI

採算DIの現況判断は▲37.5で、業種別にみると「製造業」が▲20.0で最も高く、「卸売業」が▲24.8で続いている。

先行きは横ばいの▲37.5で、「建設業」で改善、「製造業」「卸売業」で悪化となっている。

図表3 採算DI

	2025年 1～3月期 (前回調査)		2025年 4～6月期 (今回調査)		2025年 7～9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲37.4	↗	▲37.5	↘	▲37.5	→
建設業	▲60.0	↘	▲40.0	↗	▲20.0	↗
製造業	▲40.0	↘	▲20.0	↗	▲40.0	↘
卸売業	▲39.8	↗	▲24.8	↗	▲25.0	↘
小売業	▲25.0	→	▲60.0	↘	▲60.0	→
サービス業	▲19.8	↗	▲40.0	↘	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲19.4	↗	▲16.5	↗	▲15.9	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(4) 資金繰りDI

資金繰りDIの現況判断は▲12.5で、業種別にみると「建設業」「小売業」が0.0で最も高く、「製造業」「サービス業」が▲20.0で続いている。

先行きは12.5p悪化の▲25.0で、「小売業」「サービス業」で横ばい、その他の業種で悪化となっている。

図表4 資金繰りDI

	2025年 1~3月期 (前回調査)		2025年 4~6月期 (今回調査)		2025年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲25.0	↗	▲12.5	↗	▲25.0	↘
建設業	▲40.0	→	0.0	↗	▲40.0	↘
製造業	▲40.0	↗	▲20.0	↗	▲40.0	↘
卸売業	▲19.8	↗	▲24.8	↘	▲25.0	↘
小売業	▲25.0	↘	0.0	↗	0.0	→
サービス業	0.0	↗	▲20.0	↘	▲20.0	→
(参考)全国全産業	▲14.1	↘	▲10.5	↗	▲11.8	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

(5) 仕入単価DI

資金繰りDIの現況判断は▲54.2で、業種別にみると「サービス業」が▲40.0で最も高く、「卸売業」が▲50.0で続いている。

先行きは横ばいの▲54.2で、全ての業種で横ばいとなっている。

図表5 仕入単価DI

	2025年 1~3月期 (前回調査)		2025年 4~6月期 (今回調査)		2025年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	▲66.7	↗	▲54.2	↗	▲54.2	→
建設業	▲60.0	↘	▲60.0	→	▲60.0	→
製造業	▲80.0	↗	▲60.0	↗	▲60.0	→
卸売業	▲60.0	↗	▲50.0	↗	▲50.0	→
小売業	▲75.0	→	▲60.0	↗	▲60.0	→
サービス業	▲60.0	↗	▲40.0	↗	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲66.6	↘	▲62.7	↗	▲51.2	↗

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は0.3で、全ての業種でやや不足となっている。

先行きは0.1p悪化の0.2で、全ての業種でほぼ横ばいとなっている。

図表6 従業員DI

	2025年 1~3月期 (前回調査)		2025年 4~6月期 (今回調査)		2025年 7~9月期 (先行き)	
		前期比		前期比		今期比
全産業	0.3	↗	0.3	→	0.2	↘
建設業	0.2	↘	0.4	↗	0.2	↘
製造業	0.0	→	0.2	↗	0.2	→
卸売業	0.4	↗	0.3	↘	0.3	→
小売業	0.3	↗	0.2	↘	0.0	↘
サービス業	0.4	↗	0.4	→	0.4	→
(参考)全国全産業	22.7	↗	20.6	↘	19.9	↘

※(参考)は日本商工会議所LOBO調査の値を参照

DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
なんといってもコメの価格が上がりすぎたのが大変。値上げもしているが、売上が減るのが心配。	小売業
販売減。	小売業
最近落ち着いているが、あらゆる経費が上昇し、利益を減らしている。特にこの業界は輸入品が多数あるので、消耗品の値上げがかなりひびいた。今後も物価高が続くようであれば、また料金の見直しをしなければいけないことになる。	サービス業